

ザ・リサイクルジュニア

4号
令和6年
3月発行

発行 / 調布市環境部ごみ対策課 〒182-0031 調布市野水 2-1-1 クリーンセンター
TEL:042-306-8781 FAX:042-368-9921 E-mail:gomitai@city.chofu.lg.jp



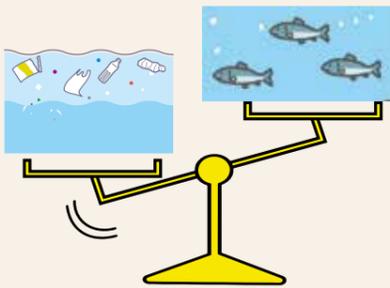
海洋プラスチック問題

プラスチックと私たちの生活

プラスチックは軽くて丈夫で衛生的なことから、皆が使っている食品容器やビニール袋、ペットボトル、おもちゃ等、色々なものに使われ、皆の暮らしをとて豊かにしてくれています。



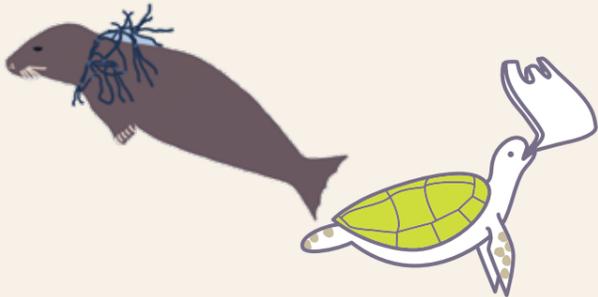
海洋プラスチックと環境問題



プラスチックがない生活は考えられないですね。ですが、ポイ捨てなどできちんと処理されなかったプラスチックごみが、海に漂い深刻な環境問題を引き起こしているのを知っていますか？これを海洋プラスチック問題といいます。海洋プラスチックごみは、現在、地球の海に1億5000万トンが浮かんでいるとされ、いまだに増えています。2050年には海洋プラスチックごみが世界中の海の魚の量を上回ると言われています。

生き物への影響

鳥やカメ、魚などの生き物が海洋プラスチックごみを餌と間違えて食べたり、ビニール袋などに絡まることで傷つき、死んでしまいます。



健康や環境への影響

海に浮かんだプラスチックは、自然界ではほとんど分解されず、砕けて、とても細かい破片「マイクロプラスチック」になり、海中に沈みます。このマイクロプラスチックは、健康や環境に悪い影響を与える有害化学物質を取り込みやすく、さらに海にいる生き物が餌と間違えて食べ、やがては私たちがその魚などを食べることで、さまざまな健康問題を引き起こしてしまいます。



海洋プラスチック問題を解決するために

海洋プラスチックごみは、ポイ捨てや、風で飛ばされてしまったプラスチック（プラごみ）が川を伝って、やがて海へ流れ着いてしまうことが原因です。

これを防ぐためには、外で出たプラごみやペットボトルは持ち帰ること、学校や住んでいる地域のルールに従って、きちんと分別・リサイクルをすることが大切です。

それでは、調布市に住む皆が分別してくれたプラスチックが、どのようにリサイクルされているか、順番に見てみましょう！



うらめん裏面へ

ちょうふし 調布市のプラスチックリサイクル



ちょうふし す みな だ
調布市に住む皆が出したペットボトルやプラスチックがどのようにリサイクルされているか、行方を追ってみましょう！

1 しょうひしゃ しみん 消費者(市民)

プラスチック容器や包装を分別・排出する。



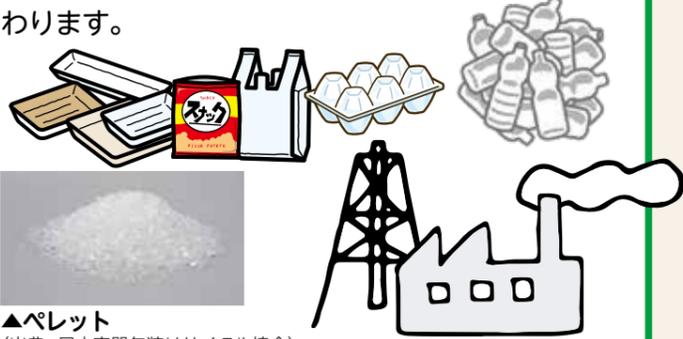
2 ちょうふし 調布市

家庭から出たペットボトルやプラスチックを収集車で回収します。



5 せいひん プラ製品メーカー

プラスチック製品の原料であるペレットや繊維などの材料は、様々なプラスチック製品に生まれ変わります。



▲ペレット (出典：日本容器包装リサイクル協会)



調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター リサッチョ



3 えいせいくみあい ふじみ衛生組合 (リサイクルセンター)

ごみの集積・リサイクルできるものとできないものの分別(手作業で選別)や異物の除去・リサイクル業者に引き渡すための梱包などを行います。



こうじょう 工場

ガスにして化学原料にしたり、コークスという鉄をつくるときに還元剤としても利用します。



▲コークス



4 ぎょうしゃ リサイクル業者

梱包されたプラスチックは、リサイクル(資源化)業者へと搬送され、プラスチック原料になります。



むだなプラスチックを減らそう! (リデュース)

きちんと分別されたプラスチックは、適切にリサイクルされ、海洋ごみにもなりません。また、プラスチックの原料(石油)は限りがある大切な資源であることから、まずは、プラスチックごみを出さない(リデュース)工夫をすることがとても大切です。コンビニなどでプラスチックフォークやレジ袋を断る、水筒を使う、シャンプーは詰め替え品を用いるなど、身の回りの無駄なプラスチックを減らすリデュースに取り組んでみましょう！

